

Web版

パーツリスト

一般的な補修作業などで必要となる部品を現場作業向けに見やすく編集したパーツリストです。

動力取出装置

PT020

PT040

PT0120

PT0180

最終編集日 2009年4月10日

書類番号 1257

最新のものは、下記URLからダウンロードしていただけます。

トップページから「技術資料」をクリックしてください

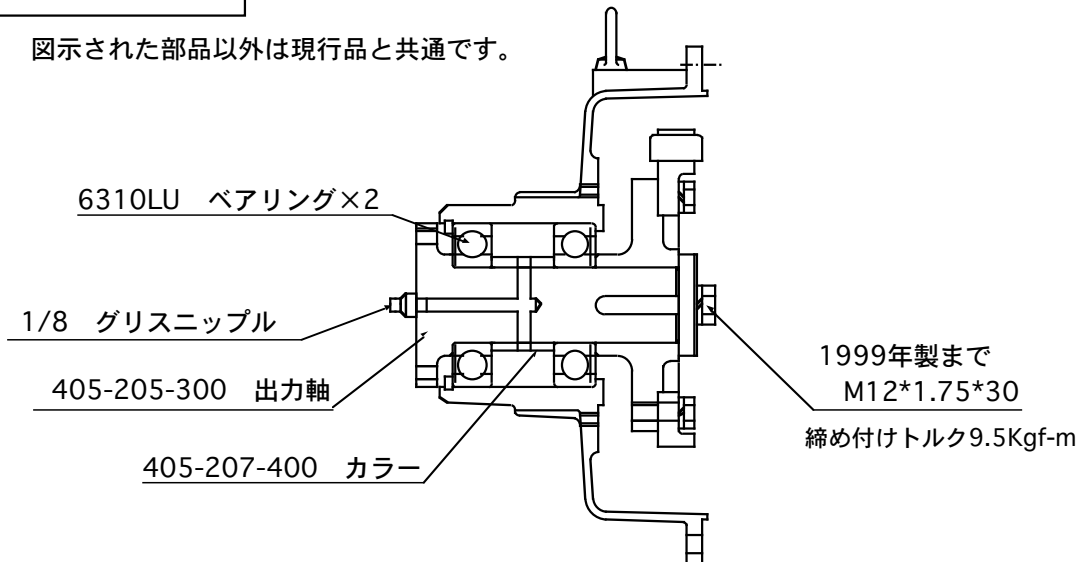
<http://www.yamamotokiko.co.jp>

本紙に記載されている製造年（例：2002年製まで）は、個別の仕様や納入時期の違いにより若干前後している場合がありますので目安とお考えください。

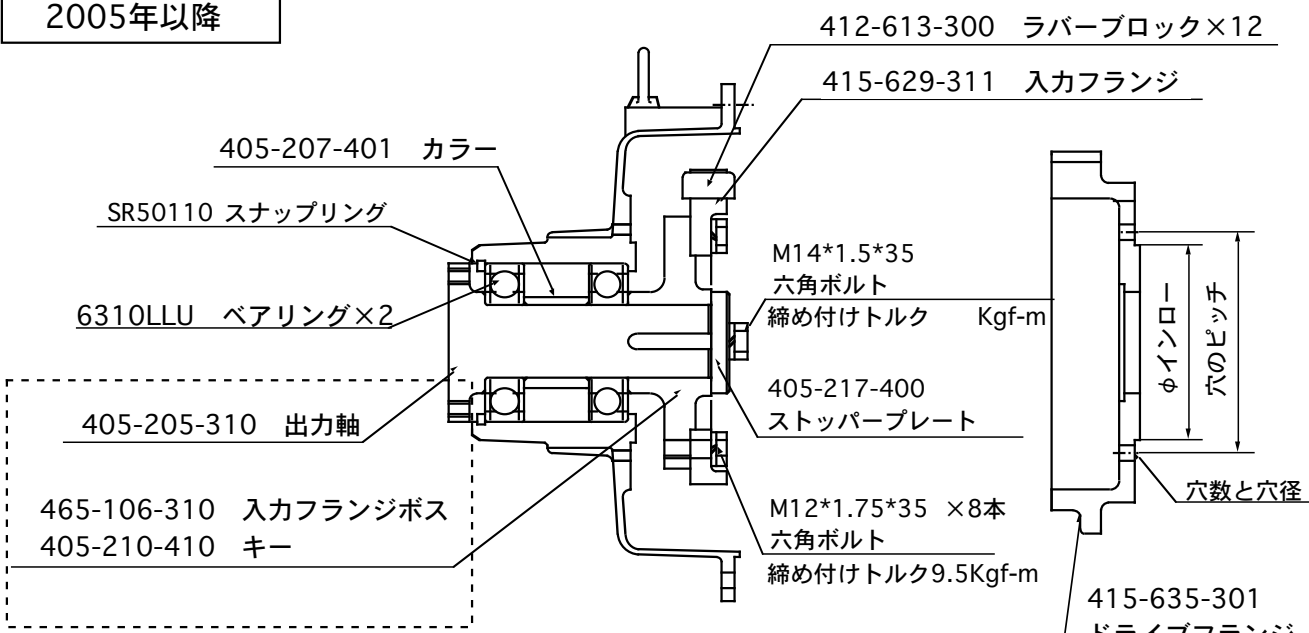
山本機工株式会社

～2004年製まで

図示された部品以外は現行品と共通です。



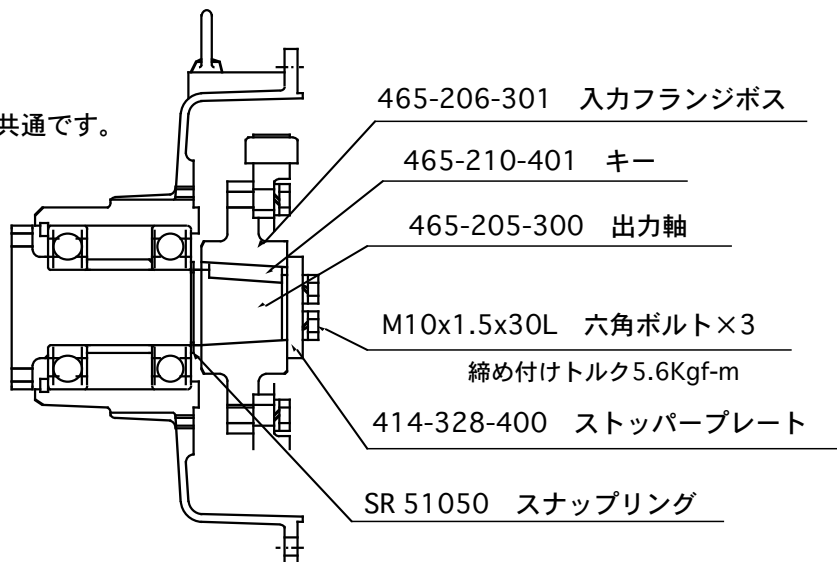
2005年以降

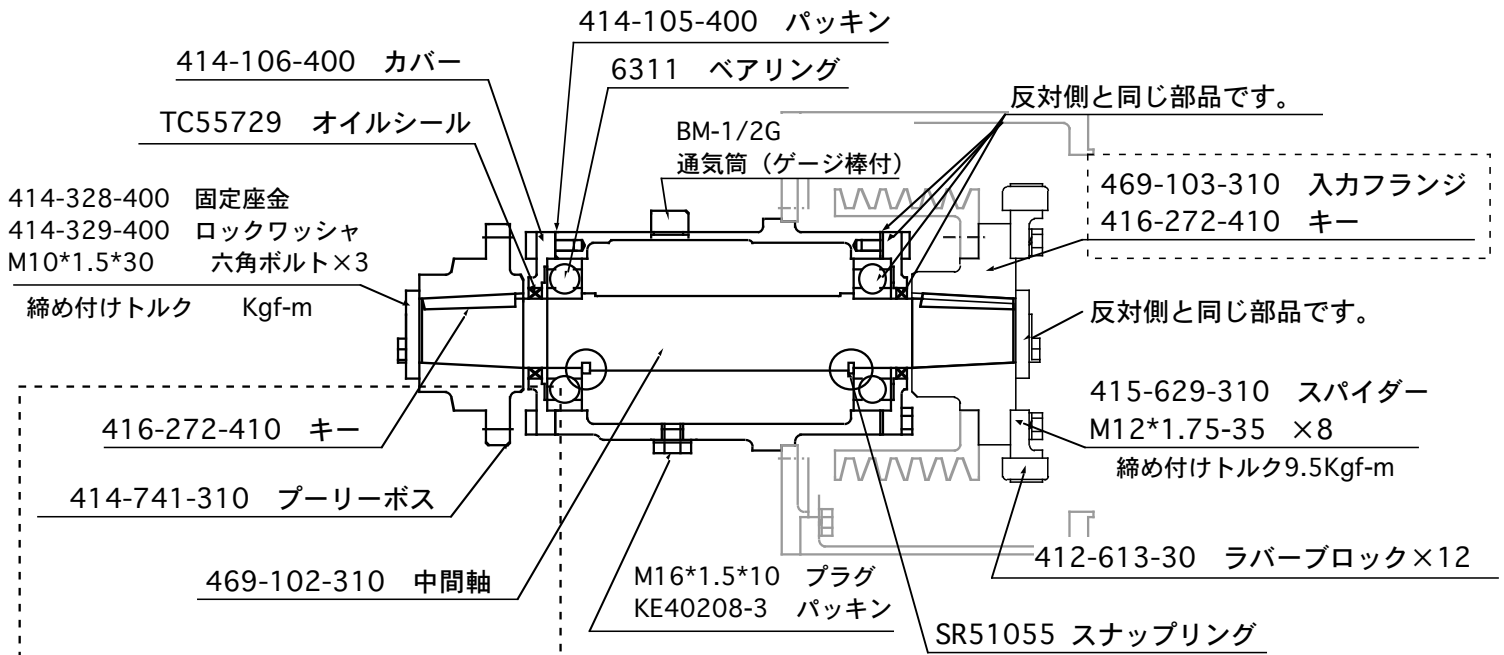


2006年後期の製品から、キーが新JIS に変更になったため
それ以前のもので枠内の部品を交換する場合は、セットの交換が必要です。

HT仕様

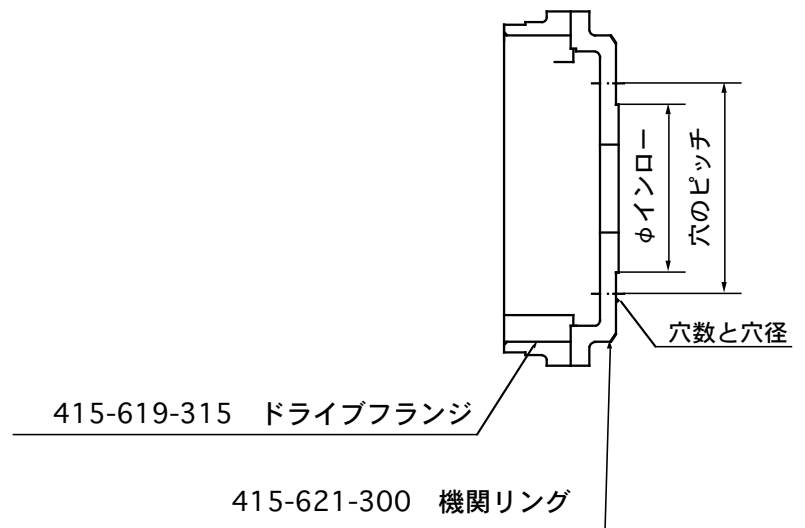
図示された部品以外は上図と共通です。





2006年後期の製品から、キーが新JISに変更になったため
それ以前のもので枠内の部品を交換する場合は、
セットの交換が必要です。

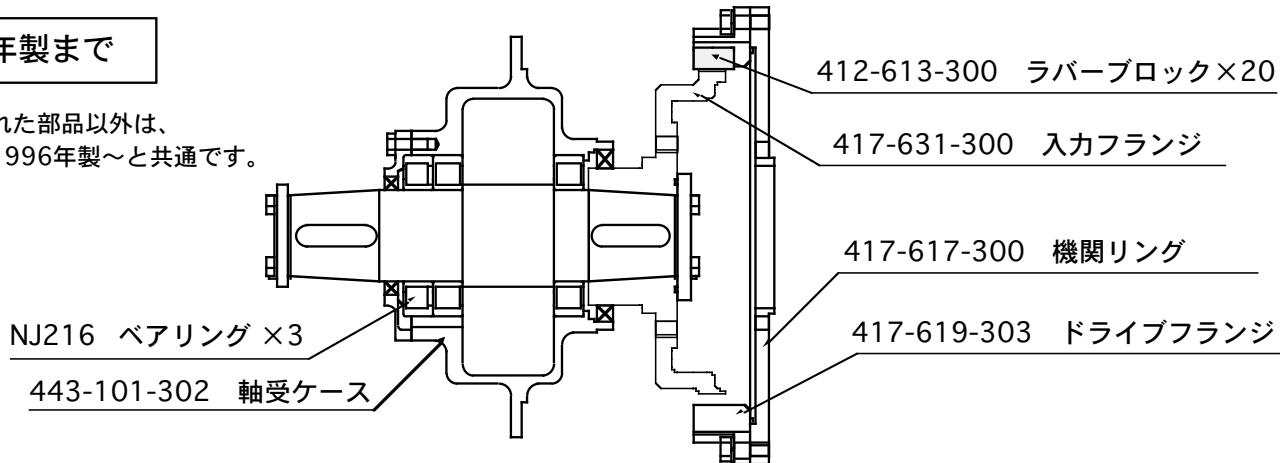
エンジン側



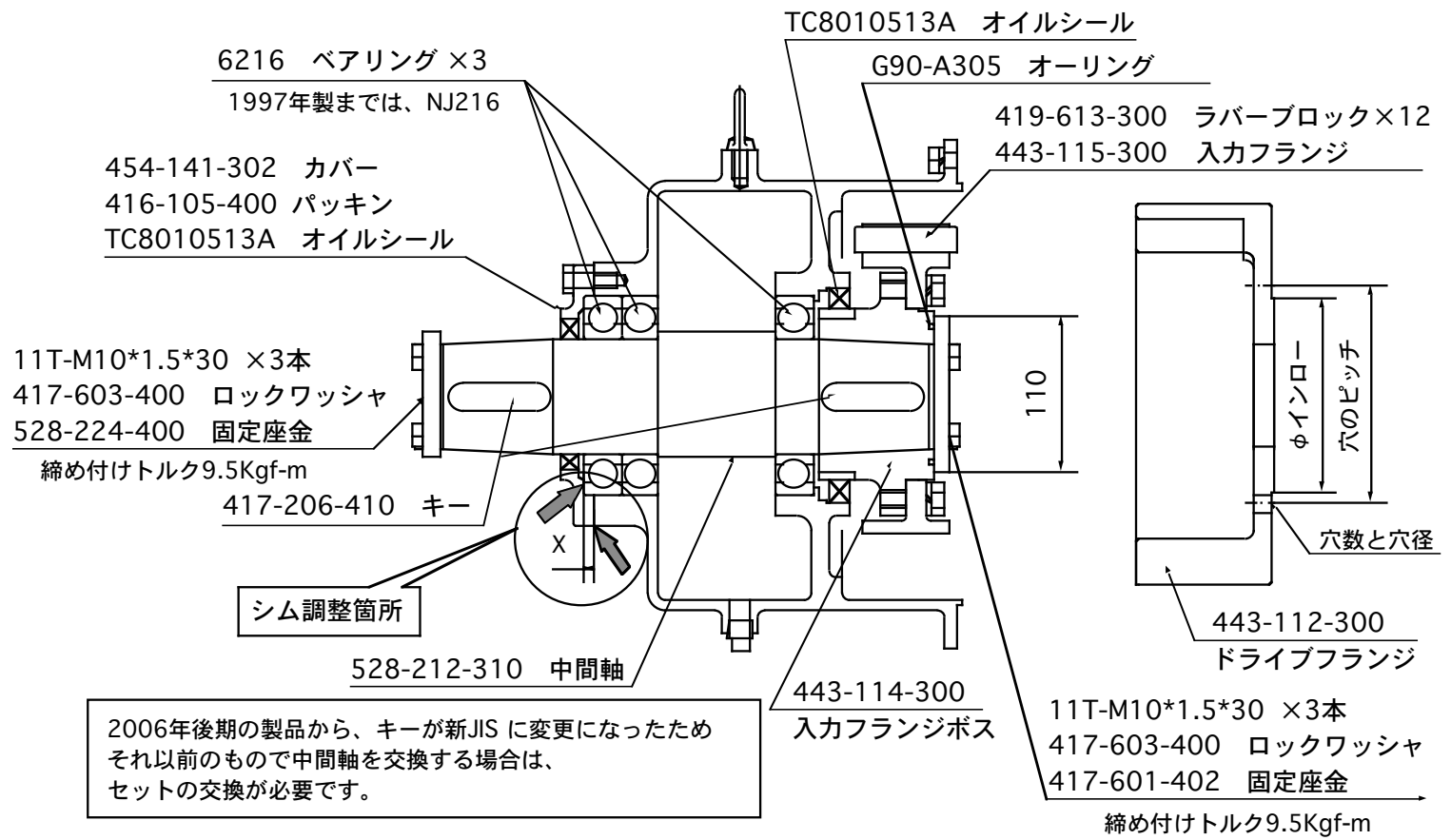
エンジンオイル SAE#30 油量約1.3ℓ
直結型、別置型ともケース以外の部品は、共通です

1995年製まで

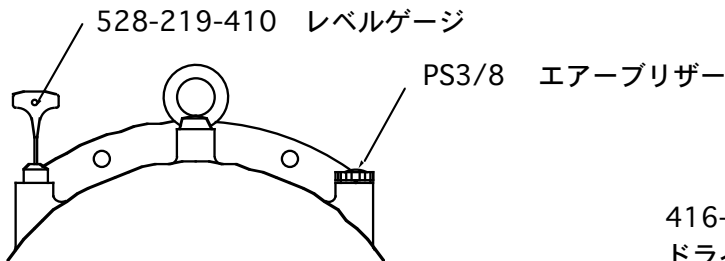
図示された部品以外は、
下図の1996年製〜と共通です。



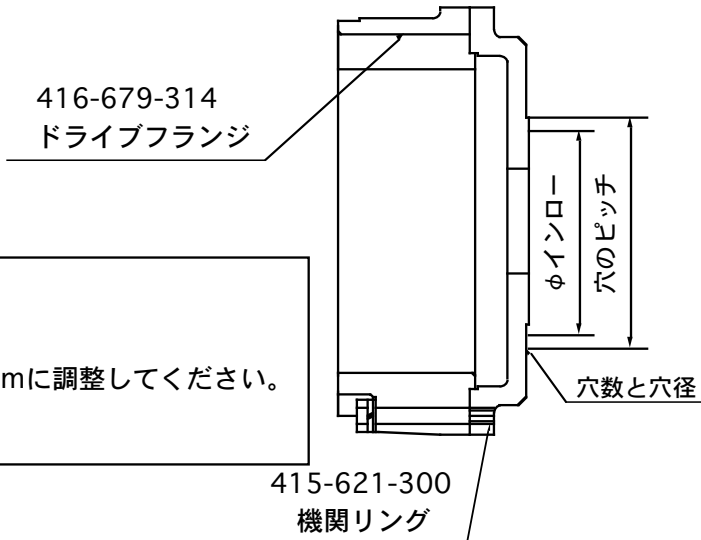
1996年製以降



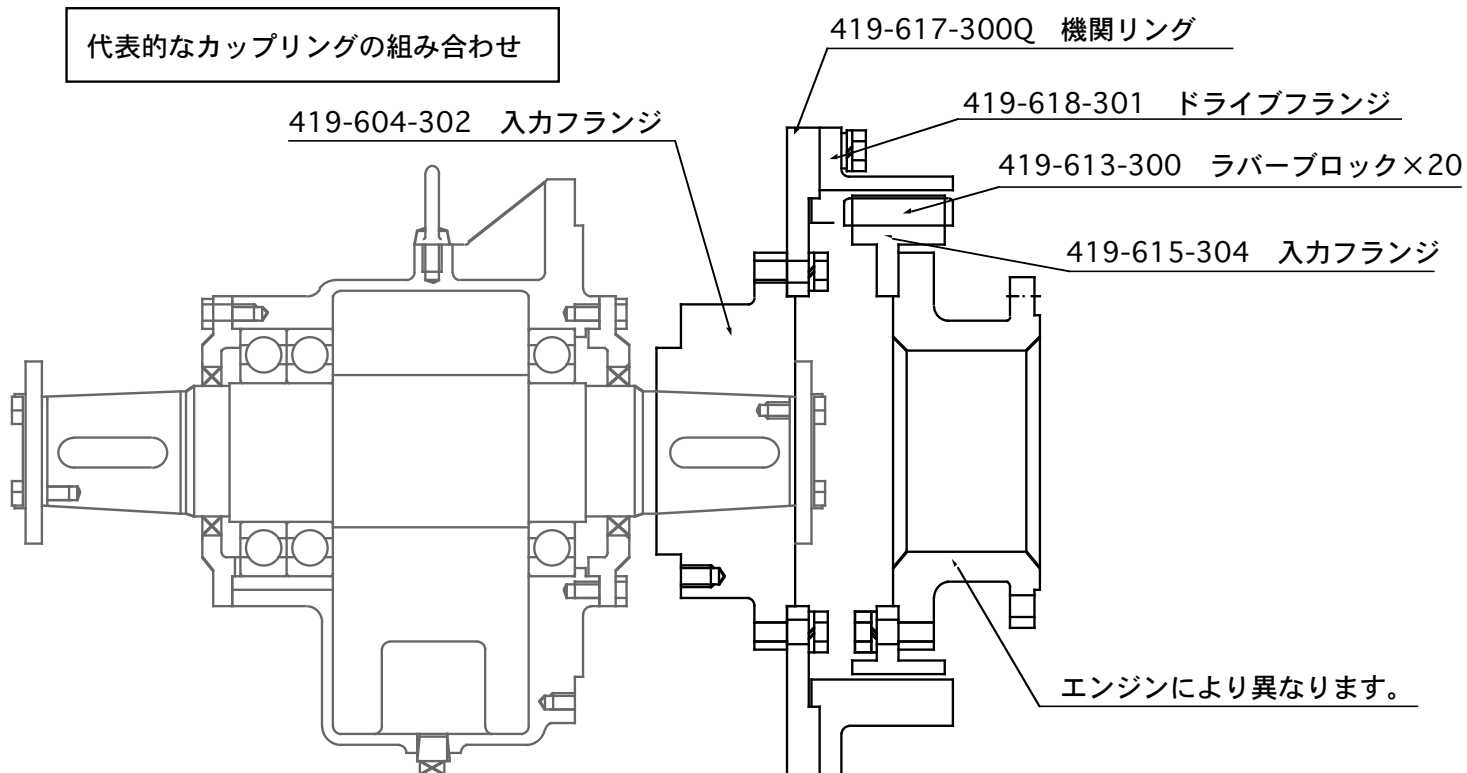
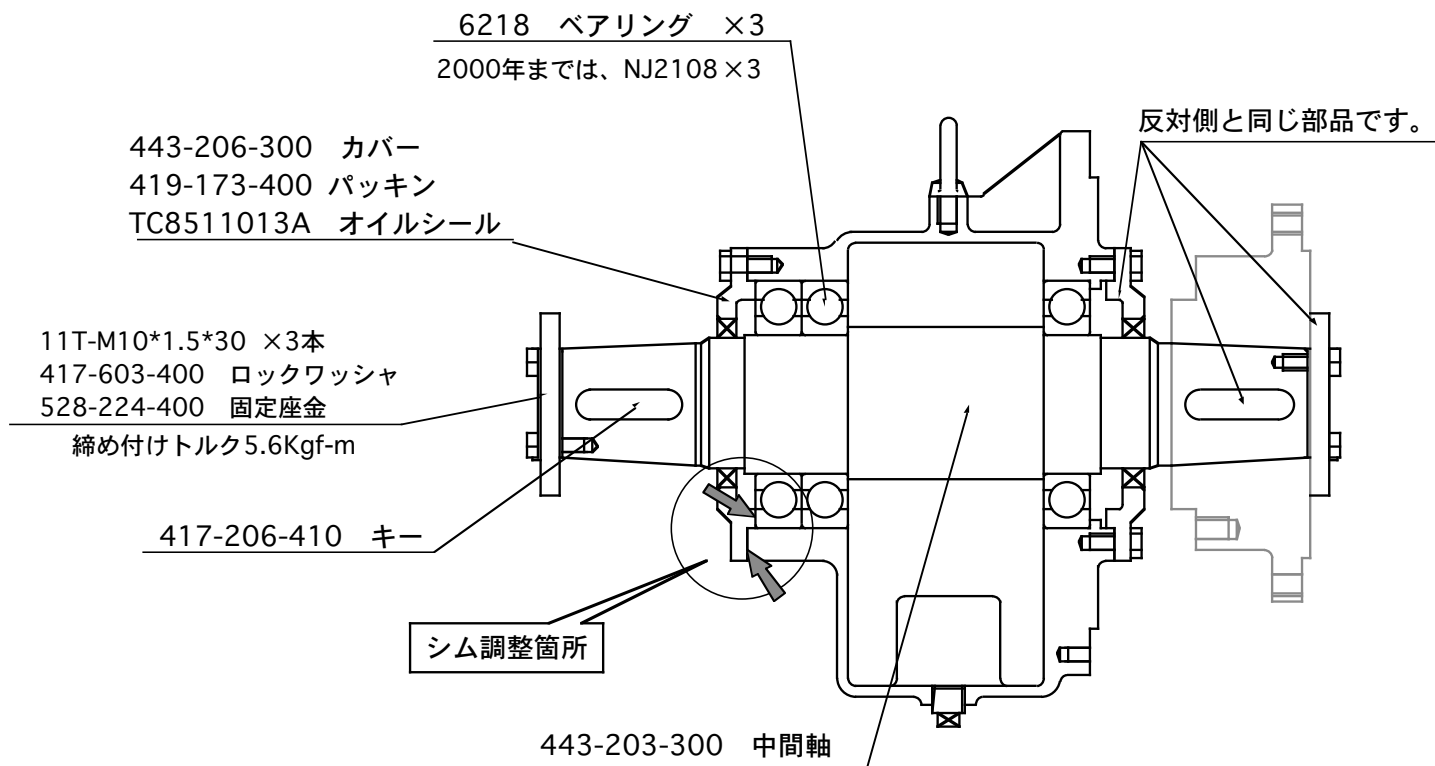
2006年後期の製品から、キーが新JISに変更になったため
それ以前のもので中間軸を交換する場合は、
セットの交換が必要です。



別置き型の場合



エンジンオイル SAE#30 油量約2.3ℓ
直結型、別置型ともケース以外の部品は、共通です。
シム調整箇所：ベアリング/カバー間の隙間を0.2~0.3mmに調整してください。



エンジンオイル SAE#30 油量約4.5ℓ

シム調整箇所：ベアリング/カバー間の隙間を0.2~0.3mmに調整してください。